

科目名	量的調査の方法			ナンバリング	SOC262	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	高島翠	担当教員					

授業の概要	社会科学分野では、さまざまな尺度に基づいた調査を行う。その中でも量的な尺度に基づいた調査は、様々な研究を進めるうえで非常に有効な方法である。本講義では、量的調査によって得られたデータを分析するのに必要な知識や技能を身につけることを目的とする。エクセルやSPSSなどの統計ソフトを使い、結果を解釈、記述する方法を学ぶ。						
到達目標	①尺度とは何か、説明することができる ②基礎的な代表値の算出方法・意味を理解することができる ③基本的な統計処理の概念・方法を理解し、実践することができる ④t検定を実施し、2つの平均値の差の検定を実践、理解することができる ⑤重回帰分析を実践し、データを読んで結果を解釈することができる ⑥因子分析を実践し、データを読んで結果を解釈することができる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	社会データ分析・社会統計学を履修済みであることが望ましい。これらの基礎知識はすでに修得済みであることを前提に授業を行う。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①適切に、4つの尺度に分類することができる。 ②平均値や標準偏差、標準得点などの算出方法を理解できる。 ③2つの平均値の差の検定を実施し、値の意味を理解することができる。 ④重回帰分析を実施し、値の意味を理解することができる。 ⑤因子分析を適切に実施することができる。	①4つの尺度の分類について説明し、各尺度に適切な代表値を選ぶことができる。 ②量的なデータの基本統計量として、平均値や標準偏差、標準得点などを適切に算出することができる。 ③2つの平均値の差の検定について、適切な手法を用いて行い、得られた結果を適切に解釈することができる。 ④重回帰分析がどのような場合に用いられるのかを理解し、適切な手法を選んで行い、得られた結果を適切に解釈することができる。 ⑤因子分析がどのように用いられているのかを理解し、実際に実践することができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○		○			60%
宿題・授業外レポート	○		○	○			30%
授業態度・授業への参加				○			10%
出席				○			加点にはしないが 減点する場合がある

課題、評価のフィードバック	授業内・授業外における課題は、そのつど正答と解説をフィードバックする
---------------	------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	これまでの統計に関する修得した知識内容の確認・復習	
	第2回	基礎統計量の復習	基礎統計量の算出方法の確認	
	第3回	推測統計の基本	推測統計の基本の説明	
	第4回	t検定	2つの平均値の期の検定方法の説明、実施	
	第5回	相関係数	相関係数の算出方法の実施	
	第6回	相関係数	相関関係にありそうなデータを見つけ出し、実際に相関係数を算出、相関関係にあるか否かの判断をする	
	第7回	回帰分析	回帰分析の分析方法の説明、実施	
	第8回	重回帰分析	重回帰分析の分析方法の説明、実施	
	第9回	重回帰分析	重回帰分析の分析方法の説明、実施	
	第10回	重回帰分析	重回帰分析の分析方法の説明、実施	
	第11回	重回帰分析	重回帰分析の分析方法の説明、実施	
	第12回	因子分析	因子分析の分析方法の説明、実施	
	第13回	因子分析	因子分析の分析方法の説明、実施	
	第14回	因子分析	因子分析の分析方法の説明、実施	
	第15回	因子分析	因子分析の分析方法の説明、実施	
		試験		
授業の進め方				
授業外学習の指示		<p>【復習】授業のノートを参考にわからないところがないか、復習をする。さらに、manab@に提示される課題を提出する。</p> <p>(授業外学習時間: 毎週 90 分)</p>		

教科書	使用しない
参考書	書名:読む統計学 使う統計学 出版社:慶応義塾大学出版会 著者:広田すみれ 価格:2592(税込) ISBN:978-4766420364
参考URLなど	
その他	データの収集・分析結果の提出などは、manab@IMUを利用する なお、学生の理解度や要望に合わせて授業内容を変更する場合がある